

令和2年度 政策調整会議による事務事業評価(事前評価)一覧

No.	担当		事務事業名称	必要性	効率性	公平性	緊急性	方向性	見直しの具体的な方策及び指示事項
	課	班							
1	教育振興課	学校教育班	コロナ禍における学校行事負担(小学校・中学校学校行事負担金)	A	A	A	A	①実施する	感染症予防対策により負担増となる交通費(バス借り上げの増)について、支援を行う。6月25日追加上程(予定)とする。 なお、体験学習、宿泊先などその年ごとの計画内容の変更による増額は、従来のおり保護者の負担である。また、東中は、JR等の利用であったことから交通費の負担増を把握し、整合を図ること。
2	総務課	財政管理班	高度無線環境整備推進事業(光ファイバー整備の推進)	A	A	A	A	①実施する	町内における通信環境の充実と、将来、新規格通信の早期普及のため、実施とする。 既設のFWAと二重化することで防災に強い環境の整備が見込める。 「光」利用によりコスト高となる町施設では、FWAを継続利用。 北海道、町村会を通じ非過疎団体にける財源の要望を行う。
3	総務課	財政管理班	保健福祉総合センターヒートポンプ導入事業	B	B	B	B	③実施しない	評価なし。 補助事業等の見直しに注視し、効果を検証をづけながら、ボイラー更新の方法を検討する。
4	建設水道課	上下水道班	公共下水道事業の地方公営企業法適用に係る委託業務	A	A	A	A	①実施する	全国的に移行作業が想定され、受託先の円滑な作業実施を考慮し、9月補正により対応する。
5	建設水道課	上下水道班	簡易水道事業の地方公営企業法適用に係る委託業務	A	A	A	A	①実施する	全国的に移行作業が想定され、受託先の円滑な作業実施を考慮し、9月補正により対応する。
6	農業振興課	農業振興班	上富良野町私有林整備推進事業	A	A	A	A	①実施する	近年発生した台風災害など、風倒木の放置も目立っている。 補助の上乗せにより私有林の整備を促し、民有林の整備促進を図る。 9月補正に計上。(当初、基金積立を事業費に組み替え) 令和3年度以降は当初予算から計上する。
7	保健福祉課	高齢者支援班	高齢者台帳システム導入事業	A	B	A	B	①実施する	新年度予算において実施する。 システム導入効果(費用対効果:職員数の減、経費の減など)を検証し、予算査定を行う。
8	保健福祉課	子育て支援班	保育環境改善等事業補助(熱中症対策事業)	A	A	A	B	①実施する	新年度予算において実施する。 各園ごとの事業計画を明確にすること。 (どこの部屋に、どのような機器)
9	保健福祉課	子育て支援班	保育体制強化事業補助	A	A	A	B	①実施する	新年度予算において実施する。 対象者を令和2年度から雇用されたものとする。体制強化を図る事業とする。
10	農業振興課	農業振興班	上富良野町林業担い手育成支援事業	A	A	A	B	①実施する	新年度予算において実施する。 森林環境譲与税を活用した事業の全体計画をつくり、計画的な予算計上をおこなうこと。
11	建設水道課	土木建設班	町道維持管理車輛(小型ロータリ)購入	A	A	A	B	①実施する	新年度予算において実施する。 特定共同企業体での除雪体制のあり方を検証し、効率的な実施と車両や人員の配置を図ること。
12	企画商工観光課	商工観光班	吹上温泉保養センター改修(リニューアル)	A	B	A	B	②計画を見直して実施	改修に伴う財源は、十勝岳基金を滑油する。 サウナ室の天井は危険度が高いため、緊急対策を行う。(予備費) 浴室のカビ発生原因について、換気設備の故障と思われるならば、機能の確認を高く。 サウナ室の天井以外の改修、リニューアルは手法や規模など再考し、改めて事前

No.	担当		事務事業名称	必要性			方向性	見直しの具体的な方策及び指示事項
	課	班		効率性	公平性	緊急性		
13	企画商工観光課	企画政策班	定住移住ホームページ整備	A	B	A	C	②計画を見直して実施 地方創生推進交付金実施計画の期間中には実施できるよう、時期、内容を検討すること。 発注方法を検討すること。(プロポーザル方式) HP掲載内容の更新方法を検討すること。(すべてを外注するのではなく、空き情報などすぐ反映できる体制)
14	企画商工観光課	企画政策班	上富良野町奨学金返還支援補助	B	A	A	B	①実施する 新年度予算において実施する。 企業の人材育成の観点では、町が実施することが妥当ではないが、移住施策、地域産業の育成としては効果が望める。
15	保健福祉課	子どもセンター	子どもセンター移転に伴う旧看護師宿舎の改修工事	A	B	A	B	②計画を見直して実施 事業費及び調整交付金の返還は精査を要する。 本整備に関する基本的な方向性と必要性については、これまで町立病院整備計画において確認済みである。 整備内容を精査し実施する。 予算審議において判断する。
16	町民生活課	生活環境班	廃棄物処理施設技術管理者講習事業	B	B	B	B	②計画を見直して実施 政策判断の余地なし。 事前評価の対象としない。 職員の配置を考慮し、計画的に資格者の養成をする。
17	町民生活課	生活環境班	使用小型家電処理委託事業	B	B	B	B	②計画を見直して実施 政策判断の余地なし。 事前評価の対象としない。 受益者負担は検討していくこと。 全道的な状況の把握に努め、適正な請負をしていくこと。
18	企画商工観光課	地域活性化担当	ロケーターリズム推進事業	A	A	A	B	②計画を見直して実施 財源については、既にふるさと応援寄附で確保。協定において負担上限は80,000千円となっている。 ロケ支援に係る当面の経費として、20,000千円を映画化を進める会負担金へ追加して予算計上する。(駅舎分・旧東中分の内訳はしない) CG作成については、映画だけにとどまらず防災教育やジオパーク推進事業などへの活用も想定されるため、町の直接経費で予算計上する。
19	企画商工観光課	地域活性化担当	地域おこし企業人推進事業	A	A	A	B	①実施する 地域振興に生かしていくため、専門的な知識人脈を有する人材を登用し事業の推進を図ることは大変有益であり、将来への展開が期待できる。
20	企画商工観光課	商工観光班	設備及びイベント物品運搬業務	B	B	B	B	①実施する 政策判断の余地なし。 事前評価の対象としない。 イベントに係り必要な人工については、イベント予算の中で対応すること。 それ以外のものについては、車両運転等の有資格者と調整を図りこれまで同様にかを超えて柔軟に対応を図ること。
21	町民生活課	自治推進班	協働のまちづくり推進補助金	A	A	A	B	①実施する 活動に対する5年目以降の支援を行っていくことが、協働のまちづくりの推進を後押しするものとして大きいものである。 協働のまちづくり推進委員会においても、補助要綱の改正は確認されており、拡充をおこなう。 所管においては、団体のニーズを把握し、より活動の活性化が図られるように検証していくこと。